



សួស្តីឆ្នាំថ្មី ប្រពៃណីខ្មែរ
២០២៤

Happy Khmer New Year



GOLDEN CAMBODIA CENTURY

4月のGCO建設進捗報告です。

GCオルセーマーケットの工事進捗のご報告です。

GCオルセーマーケットの駐車場部分工事がスタートしました。

日々、工事現場の安全を確保しながら、スピーディーな工事進行を目指しています。







LA VISTA
ONE

4月のLVO建設進捗報告です。

A棟

- モデルフロアの空調設備の取り付けが完了しました。
- モデルフロアの家具の取り付けは70%完了しています。
- シャワールームのガラス仕切りの取り付けは3つのユニットで完了しました。

B棟

- 20階から19階の天井の封板が完了しました。
- 20階から10階、38階から35階のバスルームの天井の吊り金具の取り付けが完了しました。
- 20階から14階、38階から37階のタイル張りがすべて完了しました。





2024.04.22 星期一
紫晶壹号项目

今日水印相机



2024.04.22 星期一
紫晶壹号项目

今日水印相机

CAMBODIA

LATEST INFORMATION

2024年04月22日

カンボジア、最低開発途上国脱却に向けて課題に備える



カンボジアはLDC（最も恵まれない国々）からの脱却に備えて、5年間の準備期間を設定しました。これにより、輸出品がより高い関税率や厳しい原産地規則に直面する可能性があります。カンボジアは過去20年間の経済成長の勢いを活かし、これらの課題に対処する準備を進めています。

出典：[Cambodia gears up for LDC graduation challenges](#)

2024年04月19日

ロイヤル・レイルウェイ、日本からDMU購入



ロイヤル・レイルウェイ・カンボジア（RRC）が日本から使用済みのディーゼル動力多客車（DMU）を導入します。11台のDMUが購入され、既に輸送が完了しています。カンボジアの鉄道網は日本製のDMUをサポートできると述べています。政府は高速鉄道システムの拡充と新規路線の建設を推進しており、長期的な鉄道開発計画が進行中です。

出典：[Royal Railway buys DMUs from Japan](#)

2024年04月18日

KHRが東京の空港で両替可能に



カンボジア国立銀行（NBC）は東京のトラベレックスのカウンターでカンボジアリエル（KHR）の両替可能と発表しました。NBCとトラベレックスが海外での空港においてリエル取引に関する2度目の提携であり、今後は世界中の金融センターでのリエル取引が拡大される見通しです。この取り組みは、カンボジアの通貨が国際的に取引され、受け入れられることを示し、カンボジアの観光業を支援するものです。

出典：[Serey says KHR available for exchange at Tokyo's airport](#)

2024年04月14日

カンボジアと日本の銀行、国際送金手続きを緩和



出典：[Cambodia, Japan banks ease cross-national currency transfers](#)

ウィングバンク（カンボジア）とジャパンマネーエクスプレス（JME）が提携し、日本で生活するカンボジア人向けに送金オプションを拡充します。日本在住のカンボジア人は、JMEを通じてウィングバンク経由でカンボジアに直接送金でき、家族は全国のウィングアウトレットで受け取れます。両社の役員は、この提携が国際送金を容易にし、家族への資金送金を効率化することを期待しています。

2024年04月12日

首相、農産物価格の安定化に努め



出典：[PM says Royal Government strives to stabilise the market price for agricultural products despite annual fluctuations](#)

フン・マネット首相は、農産物の市場価格が年々変動することを指摘しましたが、王政府と農林水産省は市場価格の安定化に努めます。特に、生産コストを削減して農民の利益を向上させるための努力を強調しました。首相は、カンボジアの経済において農業が重要な役割を果たしており、良質な生産を促進し、特に戦略的な農産物の価格を安定させる努力を続けると述べました。

2024年04月12日

商務省、2024年のThaifex-Anuga Asiaでタイと提携



出典：[MoC partners with Thailand for Thaifex-Anuga Asia 2024](#)

カンボジア商務省（MoC）によると、タイ商務省国際貿易促進局が2024年5月28日から6月1日にバンコクで開催される「THAIFEX-Anuga Asia 2024」について、カンボジアの参加を確認しました。イベントは食品・飲料および関連機器を中心に展開され、20カ国以上から出展者が予想されます。また、「THAIFEX-HOREC Asia 2024」も同時に開催され、ホテル・レストラン・ケータリング分野の最新技術や貿易実践に焦点を当てます。

2024年04月09日

カンボジア、2024年にASEAN首位、アジア急成長経済20か国の中で3位



出典：[Cambodia ranks first in ASEAN and third among the 20 fastest growing economies in Asia with a growth rate of 6.1% in 2024](#)

2024年、カンボジアは成長率が6.1%となり、ASEANで首位、アジアの急成長経済20か国の中で3位にランクしました。この経済成長は国際金融機関の予測に基づいており、フン・セン氏のリーダーシップの下、カンボジアは過去数十年間、7%近い高い成長を実現してきました。コロナ禍やウクライナ情勢にもかかわらず、政府は高所得国への移行を目指す野心的な戦略を発表しました。このための優先政策プログラムが立ち上げられ、国民の生活向上を図ります。

2024年04月09日

香港企業、カンボジアへの投資拡大を計画



出典：[Hong Kong-based firm to expand investment in Cambodia](#)

香港のSunwah Groupが1994年以来カンボジアに投資し、今後は5つの主要分野(持続可能な特別経済区の開発、商業ビルやコンドミニウムの建設、観光セクターの振興、電気自動車 (EV) 充電ステーションの設置)に拡大する計画です。同社の会長であるJonathan K.S. Choi氏がフン・マネット首相に計画を伝え、首相は歓迎しました。カンボジア政府は投資環境の改善に取り組む一方、インフラ整備や新しい投資政策も推進しています。

2024年04月08日

カンボジアと日本、ニッチ市場での中小企業協力を探る



出典：[Cambodia, Japan to explore SME collaborations in niche markets](#)

日本とカンボジアの中小企業 (SME) 間の協力を強化するため、日本カンボジア協会 (JCA) の高橋会長率いる日本のビジネス代表団が訪問し、協力の重要性を再確認しました。JCAのカンボジアオフィス設立により、直接のコミュニケーションと相互作用が促進され、農産加工、環境技術、エレクトロニクスなどの分野での協力が強調されました。政府もJCAと連携し、日本の投資を誘致し、カンボジアの経済成長を促進する意向を示しました。

2024年04月05日

カンボジア、22億ドルの投資で106件の新プロジェクトを承認



出典：[Cambodia approves 106 new projects and production expansion projects with an investment of \\$2.2 billion](#)

2024年第1四半期、カンボジアは総額22億ドル以上の投資と10万7,000以上の雇用を伴う106件の新規プロジェクトと生産拡大プロジェクトを承認しました。特に、特別経済区域内外にそれぞれ多数のプロジェクトが含まれており、その中にはインフラ、産業、観光の分野が含まれます。これにより、前年同期比で承認プロジェクト数が増加し、投資額は約649%増加しました。

2024年04月04日

日本カンボジア協会、投資家誘致支援へ サウル氏発言



出典：[Japan-Cambodia Association to help attract investors, Sour says](#)

4月1日、日本カンボジア協会のプノンペン事務所開設の式典が開催された。ヘン・サウル労働・職業訓練大臣は日本のビジネスマンや投資家のカンボジアへの誘致に重要な役割を果たすと強調しました。日本との関係強化で、投資機会の情報提供や政府機関との連携を強化。高橋文明会長も日本企業の投資を促進し、これまで31億ドル以上の210件の日本投資プロジェクトが承認されています。

2024年04月03日

カンボジア、ビジネスマンや投資家の戦略的パートナーシップに積極的



出典：[Cambodia ready to be a strategic partner of businessmen and investors](#)

カンボジアのフン・マネット首相は、ASEANの経済機会を利用し、ASEAN経済共同体の構築に取り組むことを表明しました。彼は、カンボジアが地域や国際的な取引において重要な位置を占めることを強調し、特に「Made in Cambodia」製品の品質と競争価格の国際的な認知を指摘しました。また、カンボジアはASEANへの積極的な投資を進め、生産拠点の誘致やインフラ整備により地域経済の発展に貢献する方針を示しました。

2024年04月03日

カンボジア、ASEANにおける更なる役割拡大に向けて動き出す



2024年、カンボジアのGDP成長率は6.6%と予想され、ASEAN地域で最高となる見通しです。フン・マネット首相は、この成長によりカンボジアがASEANの経済統合を強化する役割を果たすことを約束しました。彼は、戦略的パートナーとしての役割に備え、他のASEAN加盟国や対話パートナーと協力して地域共同体を構築することを強調しました。さらに、投資促進策やデジタル化などの取り組みが進められています。

出典：[Cambodia gears up to play bigger role in ASEAN](#)

2024年04月02日

シェムリアップ国際空港、2024年に8カ国から直行便運行



シェムリアップ・アンコール国際空港は、2024年の第1四半期に、8つの国から直行便を受けることとなりました。これには、ASEAN地域の6つの国に加えて、中国と韓国からの便も含まれます。さらに、インドからの直行便が6月に開始される予定です。現在、空港にはタイとベトナムからの訪問者が最も多く、1日平均で50便、5,000人の乗客が利用しています。2024年の第1四半期には、前年末と比較して約5%の増加が見られました。

出典：[Siem Reap-Angkor International Airport received direct flights from eight countries in 2024](#)

2024年04月02日

世界銀行：カンボジアとフィリピン、ASEAN内で最速成長



世界銀行が発表した最新の経済見通しによると、カンボジアとフィリピンのGDP成長率が5.8%に達し、東南アジアの中で最も急速なペースで拡大する見込みです。また、中国やベトナムを含むASEAN諸国の成長率見通しやインフレーション状況、観光業の回復状況なども報告されました。

出典：[World Bank sees Cambodia and Philippines as fastest growing developing ASEAN economies this year](#)

2024年04月02日

カンボジア、日本との労働協力の投資と拡大を支持



出典：[Cambodia supports investment and expansion of Japan-Cambodia labor cooperation](#)

フン・ソウ労働・職業訓練大臣は、日本の投資家をカンボジアへ招致し、地元の雇用機会を増やす意向を示しました。日本側は特に朝倉市のワインや麺などの製品に興味を示し、日本の製品基準をカンボジアで採用する機会を提案しました。両国は戦略的パートナーシップの強化に向けて協力を深めています。

2024年04月02日

ロイヤル・グループがカンダル州に新しい経済特区(SEZ)を開発中



出典：[Royal Group developing new SEZ in Kandal](#)

ロイヤル・グループがカンダル州に新たな経済特区(SEZ)を開発中です。新SEZ「ロイヤル・グループカンダル経済特区(RGKSEZ)」は120ヘクタールの土地に建設され、既存のプノンペン経済特区と接続しています。製造業85社と非製造業29社がRGPPSEZで活動中です。年初から2月までの輸出額は5%増の2億6400万ドルに及び、トヨタの組み立て工場が今年稼働予定です。フランスのMetal Jewelryも新SEZに進出。SEZ投資が雇用創出や輸出促進に貢献しており、カンボジア政府は高度技術投資を後押ししています。

2024年03月30日

カンボジアと日本、市場拡大とスキル強化の機会を模索



出典：[Cambodia-Japan seeks opportunities to expand markets and strengthen skills](#)

3月28日、労働技能訓練相のフン・ソウ労働・職業訓練大臣が日本の長野県カンボジア・日本友好振興連盟の坂木会長と会談しました。カンボジアと日本の労働市場拡大とスキル強化の機会を探りました。両者は協力関係が拡大し、日本の現代技術に関する専門トレーニングを受けることが可能になっていることを強調しました。

2024年03月29日

カンボジア初の英国大学キャンパスが開設準備を整える



出典：[First British University campus in Cambodia gets ready to start](#)

2023年末、英国のデ・モンフォート大学（DMU）が、プノンペンに初の英国大学分校を開校する公式発表を行いました。DMUは150年以上の歴史を持ち、DMUカンボジアは、2024年9月下旬に最初の学部および大学院の学生を受け入れる準備を進めており、学生からの大きな関心を集めています。DMUカンボジアでは、学生は英国と同じ学術基準で授業を受け、英国からの学位を取得します。奨学金や海外キャンパスへの移籍の機会など、多くの学生支援策も提供されます。

2024年03月28日

カンボジアがラオスとの高速鉄道リンクを検討



出典：[Kingdom mulling high-speed railway link with Lao](#)

ラオス中国鉄道（LCRC）は、カンボジア政府から、カンボジアとラオスPDR間的高速鉄道リンク開発に協力する許可を得ました。LCRC代表は、ビエンチャンでの会議でこのプロジェクトを提案し、フン・マネット首相は同社の取り組みを支持しました。具体的な実装については詳細が不明ですが、両国間の鉄道リンクは経済的利益をもたらすと期待されています。

2024年03月28日

ABA銀行の利益が2023年に5%増加



出典：[ABA Bank profit grew 5 percent in 2023](#)

ABA銀行は2023年に5%の利益成長を達成しました。財務諸表によれば、銀行の顧客向け融資は前年比21%増の77億ドルに拡大しました。通期利益は2億7650万ドルで、純利息収入は5億6500万ドルに成長しました。貸出ブックの拡大が主な要因であり、ABA銀行のチーフマーケティングオフィサー、ジマレフ氏はこれが利息収入増加に貢献したと述べました。預金は90億ドルに増加し、運営費用は5100万ドルに増加しました。所得税は7000万ドルに減少し、税引前利益は3470万ドルに達しました。また、NBCの承認により銀行の株式資本が増加しました。

株式会社GCCジャパン
〒107-0062 東京都港区南青山2-23-8
外苑ビル8階
TEL:03-5927-1882
E-mail: central@gccjapan.co.jp

